

TOKYO人権

誰もが幸せを実感できる社会へ

SUMMER / 2026

Vol.110

発行 / (公財)東京都人権啓発センター

eスポーツで
壁を
超える



「クローズアップ 人権コーナー」の

～ご紹介～

東京都人権プラザでは、常設展示の一角に「クローズアップ人権コーナー」を設け、注目すべきテーマについて紹介しています。今回は若年世代の自殺対策がテーマです。



いのをささえる

— 若年世代の自殺対策

誰もが生きやすい社会へ……
もし、生きることがつらいと思ったとき、あなたは身近に相談できる人はいますか？ 相談できる窓口をご存じですか？ 自分を守り、大切な人を守るために、私たち一人ひとりができることは何でしょうか。生きたくても、追い込まれてしまう社会ではなく、一人ひとりのいのちを大切に、誰もが生きやすい社会をつくるためには、どうしたらよいでしょうか。いっしょに考えてみませんか。

展示期間：2026年3月31日(火)から
1年程度
開館時間：9時30分～17時30分
休 館 日：日曜日、年末年始
入 館 料：無料

展示リーフレット



会場にて配布しています。

貸出用パネルセット



B2サイズ
10枚

市区町村で実施する人権イベントや、学校での人権教育活動、企業内の人権啓発イベントには是非ご活用ください。

お問い合わせ

展示担当
TEL:03-6722-0085
メール:tenji_plaza@tokyo-jinken.or.jp

監修：石井綾華(特定非営利活動法人 Light Ring、代表理事)

東京都が掲げる
17の人権課題

●女性 ●子供 ●高齢者 ●障害者 ●同和問題(部落差別) ●アイヌの人々 ●外国人 ●HIV感染者・ハンセン病患者・新型コロナウイルス感染症等 ●犯罪被害者やその家族 ●インターネットによる人権侵害 ●北朝鮮による拉致問題 ●災害に伴う人権問題 ●ハラスメント ●性自認 ●性的指向 ●路上生活者 ●様々な人権課題 (順不同)

YouTube / 公財・東京都人権啓発センター

主催事業等に関する動画をアーカイブし、YouTubeの公式チャンネルで公開しています。是非ご覧ください。



動画の一例

人権啓発指導者養成セミナー「子どもから何があったか話してもらう司法面接の方法を活かして」/人権問題都民講座「傷と共に生きる女性たち」の声を聴く一回復を支えるつながりとは



公益財団法人
東京都人権啓発センター
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PROMOTION CENTER

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0082(総務課)
FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



東京都人権プラザ
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA



(公財)東京都人権啓発センターは東京都人権プラザの指定管理者です。

目次 CONTENTS

3 INTERVIEW

「やってみたい」と思ったことに、 誰もが自由にチャレンジできる社会に

eスポーツプレイヤー、声優・ナレーター きたむら なおや 北村 直也さん



7 きみは、知ってる？

「もし君が不公正な状況で中立であるなら、君は抑圧する側を選んだことになる。」

デズモンド・ツツ

8 人権キーワード解説

「ジェンダー」って何？

人権カルチャーステーション

「〇〇ではない」と思っているあなたに 考えてほしいこと

漫画家 ふじみ 藤見よいこさん



9 特集

インターネットにおける番組配信と 人権擁護の仕組み

10 JINKEN note

情報アクセスを、すべての人へ。

— 東京都人権プラザの取り組み



毎週土曜日
放送中！



(公財)東京都人権啓発センターでは、
身近な人権をテーマとして、
リスナーに分かりやすく取り上げる
人権啓発ラジオ番組を提供しています。

人権
TODAY

最近の放送テーマ 不登校は子どもの問題ではなく大人の課題、まずは大人が楽しめる居場所を！「トーキーコーヒー浦安」／ AI時代の子どもの守る法教育を考える

番組名 ● 人権TODAY「まとめ！土曜日」内のコーナー
放送局 ● TBSラジオ FM90.5MHz / AM954kHz
放送日時 ● 毎週土曜日 朝8時22分頃から5分間
キャスター ● 藤森祥平さん、北村まあささん ほか





子ども時代から社会に出るまで、
どのように過ごしていましたか？

私は先天性の「小眼球」という病気で
生まれました。病名の通り眼球が小さい
状態で、この病気は全盲になる確率が極
めて高いとされています。私も学校では
全盲として学んでいましたが、子どもの
頃は色と光だけは判別できていました。
そのわずかに残っていた視覚も、二十歳
の時に失いました。

中学校までは普通学級に通い、高校か
ら特別支援学級に通いました。小学校低
学年の頃は友達との身体能力の差も少な
かったので、鬼ごっこやかくれんぼをし
て遊んでいましたね。好奇心旺盛でいた
ずら好きな性格だったので、触るなど言
われたものに触ってみたり、押すなど言
われたボタンを押してみたり、入るなど
言われた場所に入ってみては怒られる、
そんな活発な子どもでした。

また、私が幼稚園の頃に母が懸賞で
ゲーム機を当てたので、家では兄弟3人

「やってみたい」と思ったことに、
誰もが自由にチャレンジできる社会に

eスポーツプレイヤー、声優・ナレーター
きたむらなおよ
北村直也さん



ゲームには、
障害の有無や年齢など
あらゆる壁を超え、
人と人を繋ぐ力があります。



北村 直也（きたむら・なおや）

全盲のeスポーツ(コンピュータゲーム)プレーヤー、声優・ナレーター。1993年東京都生まれ。先天性の小眼球により生まれつき重度の視覚障害があり、学校では全盲として学ぶ。子どもの頃は色と光のみ判別できたが、20歳でその知覚も失った。筑波技術大学でプログラミングやアクセシビリティを学んだのち、大手IT企業に勤務。退職後、eスポーツを通じて障害者の社会参加を支援する株式会社ePARAに所属。格闘ゲーム『ストリートファイター6』のサウンドアクセシビリティ機能の監修に携わる。eスポーツイベントの企画・運営、視覚障害者の就労支援、商品やサービスのアクセシビリティに関する研究や協力など幅広く活動。(一社)日本ゲームアクセシビリティ協会理事も務め、障害者がゲームを楽しめる環境づくりに注力している。

※1「ユーザーインターフェース」の略称。ユーザーと製品・サービスとの接点が生まれる際の機器や仕組み、デザインなどを指す。

※2 障害や年齢にかかわらず、すべての人が平等に情報やサービスを利用できるようにするための工夫やデザインのこと。

※3「エレクトリック・スポーツ」の略称。対戦型のコンピュータゲームで行う競技のこと。

※4 2人のプレーヤーがそれぞれ選んだキャラクターを操り、攻撃を出し合って、先に相手の体力をゼロにすれば勝利というルールの対戦式ゲーム。

でよくゲームをして遊んでいました。例えば、マンガ『テニスの王子様』のゲームでは、相手がどんな球を打ったのかをキャラクターが声で喋^{しゃべ}ってくれます。ですから、トップスピンだったら特定のボタンを押してスマッシュで返球して点を取るなど、音を頼りに対戦できたのです。その他のゲームも兄弟と遊びながら「音だけでどこまでできるか」を自然と研究していました。

ゲームと同じくらい好きだったのがラジオを聞くことです。小学生の頃から野球中継をラジオで聞いたり、友達とラジオのパーソナリティになりきって、視聴者からの架空のお便りを創作して回答する「ラジオごっこ」をしたりしていました。中学生になると、今度はギターを弾きたいと思い立ち、母の知り合いに教わりに行ったのですが、なぜかギターよりもプログラミングを教わりました。そこでプログラミングの面白さを知り、大学は筑波技術大学の情報システム学科に進学し、コンピュータとその応用技術を学びました。当時はスマートフォンに「ボ

イスオーバー」という読み上げ機能が付き始めた頃だったこともあり、UIやアクセシビリティ^{※2}への関心も強くなりましたね。

大学卒業後は大手IT企業に就職し、システムエンジニアとして働いていましたが、メンタルの不調で2年で退職しました。その後、大学4年生の頃から声優の養成所に通っていたので、レッスンを受けながらフリーランスとして声優やナレーターの仕事を待ち、並行してWEBのアクセシビリティの仕事を受けていました。そんな中である時、知人を通じて株式会社ePARA^{※1}（以下、ePARA）と繋がったのです。

ePARAでの活動について 教えてください

現在は、eスポーツイベント^{※3}の企画・運営、講師活動、eスポーツを活用した就労支援事業、商品やサービスなどのアクセシビリティ向上のための研究開発、そして声優・ナレーターやeスポーツ

のプレーヤーとして活動しています。

ePARAでの最初の仕事は、記事の執筆でした。私は阪神タイガースのファンで、年間100試合はラジオの野球中継を聞いています。そこで『実況パワフルプロ野球』というゲームを、どうすれば全盲の人でも楽しめるかについて記事にしたのです。具体的には、バッテリーは投球音を聞いてタイミングを合わせて振るだけのモードにする、守備はオクトにする、そして、実在の選手がキャラクターとして登場するので、「この投手はカーブが得意」などの知識を生かしてプレーするなど、工夫次第で楽しめることを紹介しました。

次に参加したのが「ePARAチャampionシップ」という、バリアフリーのeスポーツ社会人チームの企業交流戦^{※4}です。格闘ゲームの『鉄拳7』を3人对3人でプレーする企画だったので、が、チームの連携が浅かったこともあり、思うような結果を残せませんでした。しかし、これを機に出場選手とサポートメンバーでブラインドeスポーツチーム

「Fortia(フォルティア)」を結成し、eスポーツの活動を継続していくことになりました。

北村さんたちが協力された サウンドアクセシビリティについて 教えてください

サウンドアクセシビリティは視覚障害のあるプレーヤーが音の情報だけでゲームの状況を把握して操作できるようにする機能です。格闘ゲーム『ストリー



点字ディスプレイ

パソコンやスマートフォンに接続して文字情報を読み込むと、手前のピンが上下に動いて点字を表示する機器。視覚障害者の就学や就労、読書などさまざまな場面で活用されている。

バリアが誰かの

「挑戦する機会」を奪うことのない
環境になるといいですね。

トファイター6』（以下、『スト6』）にサウンドアクセシビリティ機能を搭載することになったきっかけは、前作『ストリートファイター5』が流通している時に、イギリスで暮らす視覚障害のある少年から届いた一通の手紙だったそうです。「キャラクターのジャンプ音を、垂直に飛んだ時と前後に飛んだ時で分けてほしい」という要望だったそうで、これを受けて制作会社である株式会社カプコン（以下、カプコン）の開発陣が『スト6』のサウンドアクセシビリティ改善に乗り出し、ePARRAに協力依頼をしてくださったのです。

私たちの具体的な作業は、カプコンから試験的にサウンドアクセシビリティの機能を付加した対戦映像を何本かいただき、それを見ながら音に関する検証を行うというものです。例えば「キャラクター同士の距離感が音の高さで分かる機能」については、「ウィーン」という連続音より「ピッピッピッ」という断続音の方が耳が疲れない、などの提案をしています。私が特に要望したのは、「相手



の攻撃が上段・中段・下段のどれなのかを音の高さで判別できる機能」を組み込むことです。相手の攻撃に対してガードができなかった時、単に自分の反応が遅れたのか、それとも下段ガードをしていたのに相手が中段の技を打ってきたからなのか分からないと、対策が立てられ

ません。これは『鉄拳7』での経験を踏まえた要望でした。さらに、対戦中に特定のボタンを押すと、お互いの体力と必殺技ゲージなどの状況^{※5}を専用の音で読み上げてくれる機能も実装していただきました。

また、効果音の細かい音量設定にもこ

だわりました。人によってキャラクターの足音を大きくしたい人や、打撃音を小さくしたい人など好みがあるため、詳細な設定ができるようにお願いしました。発売直前にもかかわらず急ピッチで対応してくださった開発陣の心意気には感謝しています。

この取り組みの反響はとて大きく、中途失明でゲームを諦めていた方々から「導入の仕方を教えてください」と何件も問い合わせがありました。また、

世界最大規模の格闘ゲーム大会「EVO」では、オランダの全盲eスポーツプレイヤーであるブラインドウオリアスヴェン選手が『スト6』で嗜眼者に勝って会場を大きく沸かせました。その後、彼が最高ランクである「マスター」^{※6}に到達したニュースは、私自身、プレイヤーとし

※5『スト6』には、勝敗に直結する体力の他に、強力な技や特別な行動を行うための数値が個別に存在しており、画面上に棒グラフのような形式で表示されている。

※6 世界中の人とオンライン対戦できる「ランクマッチ」モードにおいて、何度も勝利を重ね続けることによって辿り着ける最上の階級。総プレイヤーの十数%しか到達できない狭き門とされている。

てライブバル心が刺激される出来事でした。

ゲームは、障害を超えた交流に
どう役立つと思いますか？

ゲームは、コミュニケーションの第一歩としてとても有効だと思います。例えば「視覚障害者と交流しよう」とか「障害理解」みたいなことを前面に打ち出した場合、実際に当事者と向かい合った時に、まず何を話したらいいかわかりませんよね。しかし、ゲームを入口にすれば「とりあえず、難しい話は抜きにして一緒にゲームしようよ」と、簡単にコミュニケーションを始めることができます。

以前、東京都人権プラザでeスポーツの体験会を開催していただいた際の出来事が印象的でした。私はその日、参加者を相手に12連勝ほどしたのですが、5連勝を超えたあたりから「誰かこの人の連勝を止める」と、会場の空気が変わってきたのです。障害の有無に関係なく、純粹に挑戦者を応援するという、自然な空

気の入替わりが面白かったですね。

また、広島県でブース出展型のイベントに参加した時のことです。9歳の男の子が私のブースにやってきて、2日間合計60試合も対戦しました。私は1日目で左手の親指が痛くなってしまい、2日目は運営側に意図的に休憩時間を設けてもらうよう交渉したほどでした。その子は、負けるたびに新しい技を覚えて私に挑戦を繰り返し、最後の1回は私を負かしました。そこには視覚障害のある大人と晴眼者の子どもという区別はなく、絶対に勝ちたいという純粹なゲーマー同士の気概だけが存在していました。

ゲームには、こうしてあらゆる壁を超えていく力があるのだと感じています。

社会のアクセシビリティや、
これからの社会に期待する
ことは？

駅などを中心にバリアフリー化が進んできましたが、社会全体を見ると、まだ

まだ整備されていない場所がたくさんあります。私は声優やナレーターの仕事で収録スタジオに向向くこともあるのですが、スタジオというのは地下など段差が非常に多い場所に設けられていることが多いのです。ですから、例えば収録に車いすユーザーを招きたいと思っても、段差のないスタジオを探すのがそもそも難しい。すると、招くこと自体を諦めなければならなくなります。スタジオに段差があることで、車いすユーザーが声優やナレーターとして活動する機会を制限している状態だといえます。

これからの社会に期待することは、こうしたバリアを理由に何かを諦める必要がない社会になることです。誰もが興味を持ったことに自由にチャレンジできる環境になるといいなと思います。

私自身、旅行をしたいと思った時にそれを強く感じました。やはり私一人や全盲の人同士で旅行をするのは難しく、だからといって目の見える友達と一緒に行く友達に負担をかけてしまうので、旅

行はしてみたいけれどできないと思っていました。しかしある時、全盲の友達がよく一人旅や当事者同士での旅行をしていることを知りました。そこで私も、思い切って当事者同士で2022年には九州にいる友達に会いに行き、翌2023年には三重県の伊勢神宮に行きました。旅行はずっと諦めていましたが、チャレンジしてみれば、計画次第で全盲の私でも旅行ができることがわかりました。

「やってみたいけれど、自分にはきっとできない」と諦めるのは、とても悲しいことです。やってみたいと思ったら気軽にやってみることができると環境になると、本当にいいなと思います。実際にやってみたら「難しかった」となるかもしれないし、「楽しかった」となるかもしれない。結果は分からなくても、誰もが気になったことにチャレンジできる、ハードルの低い社会になることを願っています。

インタビュー 玉邑 周平（東京都人権啓発センター 専門員）
／編集 小松 亜子／撮影 表紙 2（6 ページ） 細谷 聡



北村さんは2026年5月に東京ビッグサイトで開催されたeスポーツ大会「EVO JAPAN 2026」のストリートファイター 6のトーナメントに参加。



コントローラー

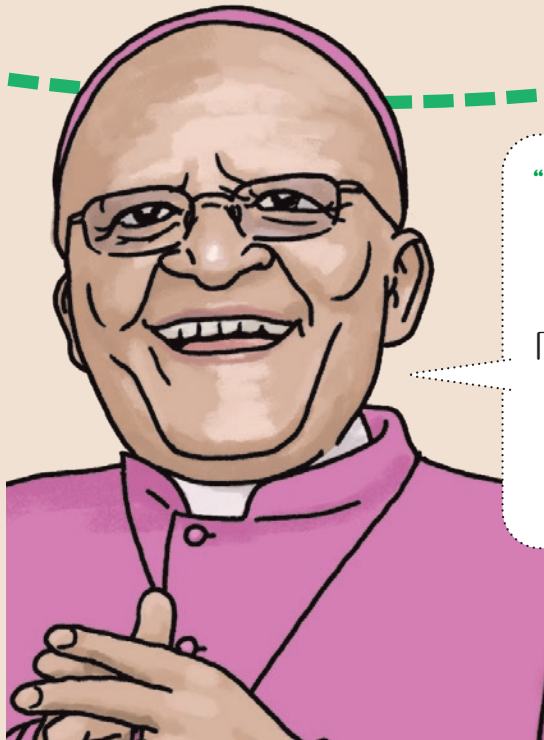
北村さんがゲームで使用しているコントローラー。特別仕様のものではなく、市販モデルのものを使用している。

きみは、
知^しってる？

みなみ
南アフリカの
きび じんしゅ さべつせいさく た む
厳しい人種差別政策に立ち向かった、
ていこううんどう しょうちようてきそんざい
抵抗運動の象徴的存在

デズモンド・ツツ

め まえ こま
目の前でだれかが困っている
とき、「自分には関係ない」
と見て見ぬふりをしていません
か？ その「何もしない」と
いう選択はだれかを苦しめる
力になっていないでしょうか。
1984年にノーベル平和賞を
授与された、ツツさんの言葉を
ヒントに探ってみましょう。



“If you are neutral in a
situation of injustice, you
have chosen the side of the
oppressor.”

きみ ふ こうせい じょうきよう
「もし君が不公正な状況で
ちゅうりつ
中立であるなら、
きみ よくあつ がわ
君は抑圧する側を
えら
選んだことになる。」

※1 出典 Robert McAfee Brown(1984).
Unexpected News: Reading the Bible
with Third World Eyes. Westminster
John Knox Press.

※2 本イラストは
“TutuCOP17.JPG” by Kristen
Opalinski/LUCSA, licensed under CC
BY-SA 3.0. をもとに作成しています。

みなみ
南アフリカにはかつて、白人以外
の人々を排除・隔離する”アパルト
ヘイト”という、厳しい差別政策が
ありました。黒人で初めてケープタ
ウン大主教というキリスト教のリー
ダーとなったデズモンド・ツツは、
対話を通してこの差別に立ち向かい
ました。
彼は、ゾウとネズミを例に出し
て、私たちが何もせず黙っているこ
とは何を意味するのかを問いかけま
した。例えば、ゾウがネズミのしっ
ぽを踏んでいたとします。それを見
た私たちがどちらの味方もせずに通
り過ぎたら、ゾウはしっぽを踏み続
け、ネズミは苦しんだまま。つまり
「何もしない」ことは、ゾウが踏み続
けるのを黙って後押ししているのと
同じなのです。
そんなとき、自分にできること
を探し、行動を起こすこと。それが、
世界から悲しみをなくす一歩だと、
ツツは信じていました。

もっと
知りたい
ときは

『かみさまのゆめ』

(デズモンド・ツツ大主教、
ダグラス・カールトン・アブラムス 著/
ファム・レ=ウィエン 絵/
むらまつやつたか やく
村松泰隆 訳/ドン・ポスト社)

さべつ あらそ
差別や争いを
どう乗り越えていくか、
あたた まなざ
ツツの温かな眼差しが
詰まっている1冊。



はだ いろ はいけい も ひとびと ひと
ツツはあらゆる肌の色や背景を持つ人々が一
つにまとまって輝く社会を「虹の国(レイン
ボー・ネイション)」と名付けました。

ジェンダーって何？

解説 人権 キーワード

このコーナーでは、聞いたことがあるけれど、わかりにくい人権に関連するキーワードを解説します。

ジェンダーとは、「女性らしさ」「男性らしさ」を決めつける社会的な考えのことで。例えば、「女性は優しく、男性は力強く」「男性は外で働き、女性は育児や家事」といったように、性別それぞれに異なる役割や振る舞いを「あたりまえ」「ふつう」とする考え方です。こうした「男性像・女性像」は、そこから外れる人に生きづらさを感じさせたり、人生の選択肢を狭めたりします。男性と女性の違いはあっていいのです。しかし、その違いによって「どうあるべきか」を決めつけることは、なくす必要があります。



男性は育児を「ふつう」はしない？



女性が炊事をするのは「あたりまえ」？



人権カルチャーステーション

「人権の視点」をもつことで世界の見え方が変わる

「〇〇ではない」と思っているあなたに考えてほしいこと

Series-11

中高生向け
COMICS
レビュー

ハーフ # 少数派・多数派 # ルーツ

漫画家 藤見 よいこ(ふじみ・よいこ)

ミックスルーツの漫画家。
『トーチweb』で『半分姉弟』を連載中。
https://to-ti.in/product/hanbun_kyodai



「私は日本人ですが、この漫画を読んで感動しました。」

私の作品『半分姉弟』について、時折いただく感想です。もちろん、すべての感想はとても嬉しいものですし、否定する気持ちはありません。しかし、私はいわゆる「ハーフ」ですが、日本国籍を持っています。つまり私だってこの国の法律上は「日本人」なのです。そうすると、彼らの言う「日本人」とは何なのでしょう？ 国籍でしょうか？「血」でしょうか？ 黒い髪と瞳？ そ

れとも、お箸で納豆を食べられる人たちのこと…？

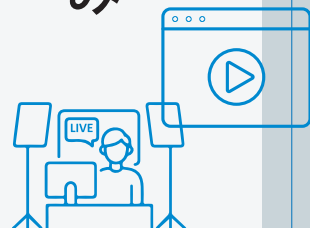
1955年発行の『広辞苑』初版には「同性愛」という言葉はすでに掲載されていました。しかし、意外なことに、「異性愛」は第6版、2008年になってようやく登場するのです。このように、実は多数派について表す言葉/概念の方が、人々が捉えるのには時間がかかったりするのです。

人種って、民族って何なんだろう？「私」は何者なのだろう？ この社会で生きる全員が当事者となる問いだと思います。しかし、その多様で複雑な日本を、酷く単純なものに均してしまおうとする力が、どんどん強くなろうとしている気がします。それに抗える力があるとなれば、ひとりひとりが考えることをやめ

ず、異なる他者と手を繋ごうとする意志でしかないのではないのでしょうか。ハーフ、ミックス、ダブル、在日…「ではない」と思っているあなたこそ、考え、語り続けてほしいと願います。



インターネットにおける 番組配信と人権擁護の仕組み



メディア研究者の
むらかみけい
村上圭子さん

テレビ放送で人権を侵害されたと感じる言論や表現があった場合、視聴者は放送倫理・番組向上機構（以下、BPO）に申し立てができます。こうした仕組みによって、放送局やテレビ番組における人権意識は高まってきました。近年では、インターネット（以下、ネット）でも多くの番組が配信されています。ネットで配信されるドラマやバラエティ番組に対してもBPOのような仕組みがあるのでしょうか。メディア研究者の村上圭子さんにお話を伺いました。

テレビ放送におけるBPOの意義

国民の共有財産である電波を使う放

送局には、放送法に基づいた規制があります。BPOは、メディアとしての表現の自由を守りながら、放送局が人権を擁護するための自主・自律的な機関として、2003年、日本放送協会（NHK）と日本民間放送連盟によって設立されました。BPOでは、視聴者から人権侵害の申し立てがあった場合、番組内容や放送倫理上の問題を審理して、その結果を公表します。問題があると思われる番組を独自に審議する機能もあります。かつては何か問題があっても、放送してしまえば終わり、という考えが制作者の中になどとはいえなかったと村上さんは言います。しかし、BPOの活動の浸透で、放送局は、より人権を意識した番組制作を

心がけるようになりました。

ネット配信番組にも BPOの仕組みができるのか？

2020年に、ネット上での配信と連動したリアリティショーと呼ばれるテレビ番組の出演者が、SNSで誹謗中傷を受け、自死にいたった事件が発生しました。これがきっかけとなり、SNS上の人権侵害に対し、被害者が訴えを起こす手続きの簡略化などの制度改正が行われました。同時に、配信番組における出演者の人権擁護のあり方も問われることになりました。

それでは現在、ネットで配信されるドラマやバラエティ番組に対して、BPOのような仕組みはあるのでしょうか。

村上さんは、放送とネットの情報流通の違いを次のように指摘します。人々が、暮らしに必要な最低限の情報にアクセスする権利を保障するという役割は、放送法の下で放送局が担ってきました。しかし、今では多くの人がネット経由で情報入手しています。また、ネット上では、マスメディア事業者に限らず、誰もが情報や意見を発信できるようになっています。そこには偽・誤情報や誹謗中傷も含まれており、瞬時に拡散しやすい特性もあります。自由な言論空間と人権侵害が表裏一体なのです。

ネット空間は、巨大なプラットフォームがいくつもあり、それらの下に各種サイトがあり、更に個人のYouTubeやSNSを通じた発信があるという複雑な構造です。こうした中で、規制に関する議論は慎重に行われるべきであり、ネット版のBPOのような仕組みもまだ検討されていないと村上さんは言います。

ネット空間の人権擁護と 自由な言論

欧州では、プラットフォーム事業者などに対して誹謗中傷や偽・誤情報等の削除を義務付けるデジタルサービス法が2024年に全面施行されました。日本でも2025年に情報流通プラットフォーム対処法が施行され、一定の法整備がなされました。プラットフォーム事業者には、被害の申し立てに対する対処プロセスの透明化をはじめ、人権侵害を抑止する強い姿勢が求められていると村上さんは言います。

そのうえで、放送局以外で動画配信を行う事業者や番組制作者にも、BPOが設立された目的と同様、表現の自由を守りながら人権を擁護する自浄能力を発揮させることが重要な鍵になると、村上さんは展望しています。

企画：吉田 加奈子

インタビュー：執筆 藤本 尊正

（ともに東京都人権啓発センター 専門員）

JINKEN note

様々な人権課題

手話通訳

ろう者と聴者の会話を、手話と音声で通訳



UDトーク

音声をリアルタイムに文字化し、意思疎通を支援

点訳資料

配布資料やレジュメ等の文字情報を点字化して提供



ヒアリンググループ

マイクの音を増幅して磁気で補聴器へ送信



託児保育サービス

イベント時には託児サービスを提供



セミナールーム



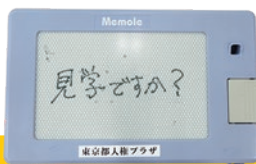
受付



東京都人権プラザの取り組み

情報アクセスを、すべての人へ。

さまざまな特性や言語の違いなどに関わらず、誰もが平等に情報を取得し、意思疎通する手段を支援する取り組みを「情報保障」と言います。東京都人権プラザでは、すべての方が安心して来館し、人権について学ぶことができるように、情報へのアクセスのバリアフリー化を進め、コミュニケーションサポートの導入をすすめています。誰もが必要な情報に平等にアクセスできる社会の実現に向けて、東京都人権プラザの情報保障の取り組みの一部をご紹介します。



筆談

聴こえや発話の困難な方と直接書いてコミュニケーション

聴こえサポートスピーカー

音が広がらず真っ直ぐ届き聴こえやすさが向上



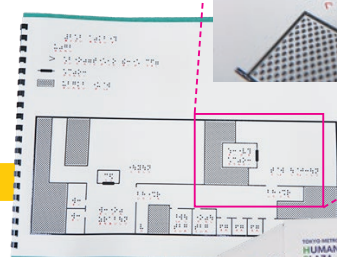
遠隔手話通訳

スマートフォン等のビデオ通話機能で手話通訳者が画面越しに通訳



触知案内図

館内地図を浮き出た線や点字で表現



多言語対応リーフレット(英・中・韓)

来館者用リーフレットを多言語で提供



点訳リーフレット

来館者用リーフレットの点字版を提供



EVENT 人権啓発行事のご案内とお知らせ

人権ディフェンダーになるための2日間集中プログラム ユース世代と関わる大人向け

様々な人権課題



若い世代を支える「人権ディフェンダー」となるためには、私たち大人が人権の基礎・基本を身に付けておく必要があります。自分自身を振り返り、他者との違いを知り、差別に立ち向かう方法を学ぶことで、自らが属する職場等においてユース世代の人権を守るために行動できるようになることを目指します。

第1回(概ね25歳から39歳まで)

日 時 2026年8月22日(土)～23日(日)9:30～16:30

会 場 東京都人権プラザ 1階 セミナールーム 講 師 大阪多様性教育ネットワーク(ODEN)

定 員 事前申込制・定員20名程度(応募多数の場合は抽選) 申込締切 8月12日(水)正午

第2回(概ね39歳以上)

日 時 2026年11月21日(土)～22日(日)9:30～16:30

会 場 東京都人権プラザ 1階 セミナールーム 講 師 大阪多様性教育ネットワーク(ODEN)

定 員 事前申込制・定員20名程度(応募多数の場合は抽選) 申込締切 11月11日(水)正午

講座



心と体を傷つけられて亡くなった天国の子供たちのメッセージ展

子供



学校の新学期が始まる4月や9月は、子どもの自殺が増えると言われています。こうした状況を解消するため、東京都人権プラザでは2018年より本展を夏休みが終了し新学期が始まる時期に合わせて開催してきました。奪われた子どもたちの命について思いをめぐらし、子どもたちの命を守るためにできることを考えてみませんか。

①展示

日 時 2026年8月27日(木)～9月26日(土)9:30～17:30(日曜休館)

会 場 東京都人権プラザ 1階 ロビーギャラリー

②関連イベント

映画『わたしたち』上映&ジェントルハートプロジェクト特別講演

日 時 2026年9月5日(土)13:00～16:00 会 場 武蔵野芸能劇場(武蔵野市中町1-15-10)

講 師 小森 美登里(ジェントルハートプロジェクト理事)

料 金 無料 定 員 140名/事前申込制(応募多数の場合は抽選)

申込締切 8月29日(土)17:00

展示及び関連イベント



【東京都人権プラザ(指定管理者: (公財)東京都人権啓発センター) 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル TEL 03-6722-0123】

(公財)東京都人権啓発センター賛助会員募集のご案内

問い合わせ

TEL 03-6722-0083 (公財)東京都人権啓発センター 企画広報課まで)

皆様とパートナーシップを築き、人権意識の高揚、人権問題の解決に向けて、ともに手を携えてまいりたいとの趣旨から「賛助会員制度」を設けております。

趣旨にご賛同いただき、是非ご加入下さい。

個人賛助会員

一口 2,000 円

団体賛助会員

一口 30,000 円



団体会員の皆様

(公財)東京都農林水産振興財団
(公財)東京都中小企業振興公社
(株)首都圏環境美化センター
(一財)東京都人材支援事業団
東京都中小企業団体中央会
(公社)東京都障害者スポーツ協会
(公財)東京都つなぎ創生財団

東京都下水道サービス(株)
(公財)東京都歴史文化財団
(一財)東京都営交通協力会
(一社)東京都信用組合協会
(一社)医療大麻dotオルグ
(公財)東京都福祉保健財団
(一社)東京環境保全協会

東京臨海高速鉄道(株)
(株)東京エイドセンター
(公財)東京しごと財団
東京交通サービス(株)
東京人権啓発企業連絡会
多摩都市モノレール(株)
(株)東京国際フォーラム

東京都職員信用組合
東京都商工会連合会
(株)東京ビッグサイト
(公財)東京観光財団
(公財)東京税務協会
東京都立大学法人
(公財)東京都交響楽団

(一財)東京都弘済会
東京都住宅供給公社
自治労東京都本部
東京食肉市場(株)
東京港埠頭(株)
東京都競馬(株)
(株)東京交通会館

(株)ゆりかもめ
東京水道(株)
(順不同)

編集後記

以前、北村さんと格闘ゲームでお手合わせいただく機会に恵まれた。その時はまだ「サウンドアクセシビリティ」がゲームに搭載されていなかったが、音でこちらの動きをしっかりと把握されたところにカウンターを決められ、見事に敗北。北村さんの技術に感嘆すると共に、「悔しい。次は勝ちたい。」という気持ちが強く湧き上がったのを覚えている。誰もがバリアを意識せずに楽しめる仕組みや工夫について、これからも調べ考え続けていきたい。(玉邑)

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO人権

Vol.110 2026年夏号 2026年7月31日発行

制作 株式会社トライ
発行 公益財団法人東京都人権啓発センター
〒105-0014 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



マルチメディアDAISY版を作成しています。ご希望の方は(公財)東京都人権啓発センターまでお問い合わせください。「DAISY(デージー)」とは、視覚障害などさまざまな理由で活字を読むことが困難な方のための、デジタル図書です。

本誌の無断転載はお断りします。本誌を研修等でご利用の際は出典をご明記ください。